



No.380 令和5年7月20日発行 強く やさしく 美しく

ご挨拶



古志クラブ会長
山根 広明

昭和61年に発足した古志クラブは、歴史・史跡の研究、町史の編纂、ふるさと散歩道の整備、由来看板の設置や、その他独自の事業を展開し、ふるさと古志に貢献してきました。各種の看板は更新を重ねながら現在も大切に利用されています。私の前回の幹事役は、第35回（令和2年）大野会長の下での研修委員で、コロナ禍が深刻になりつつある頃でした。ルートの立案、研修地の視察予約やバスの手配等をしたのですが、コロナ禍は収まる気配を見せず、やむなく中止となりました。以降、古志クラブはコロナ禍の中にあっても、各年度で可能な限りの活動を続けてきました。今年度は6月25日（日）に、4年振りに約60名の出席のもと総会を開催し、貴重なご意見もいただきました。これを皮切りにすべての事業が再開できればと思います。総会のシナリオをはじめ、前年度より引き続き、古志クラブ創生期の先輩方の志に心を馳せながら今年度も活動して参ります。

広報さくらに寄せて

佐藤内科クリニック

院長 佐藤秀俊

毎日蒸し暑い日が続きますが、古志地区の皆様には益々お元気でお過ごしのことと思います。

おかげさまで佐藤内科クリニックは、今年の11月で開院12周年を迎え、13年目に入ります。これもひとえに古志地区の皆様にご支援いただいた賜物と感謝しております。本誌にありがとうございます。広報さくらの担当の方から、今回のさくらに寄稿の依頼がありましたので、これまでの12年を振り返ってみようと思えます。

佐藤内科クリニックの佐藤院長から広報さくらに原稿を頂きましたので、今月号と来月号の2号にわたって掲載します。



た。当時一般病院や大病院では、心臓疾患の重症の患者さんを担当することが多く、朝家を出て病院に行く、次は家に帰るかわからないような生活を送っていました。元気に退院して社会復帰して行かれる患者さんを見ると疲れも吹っ飛び、忙しくも充実した日々を送っていました。その頃は、この先もずっと心臓力テール治療に携わって行こうと思っていました。

大学に帰って5年経った2010年に、ある方から古志で開業しないかとお話がありました。開業は全く考えていなかったのですが、最初はお断りしましたが、その後も他の方々からもお話をいただいたので、最初は断りましたが、古志地区に開業医がないことで、特にご高齢の方が近くで受診できる診療所がなく困っておられるとのことで、まずは大病院循環器病棟の7階から古志地区の方を見てみましたが、正直言って塩治までそんなに遠くないと思えました。次に日曜日に医大から歩いて古志コミュニティセンターまで行き、また医大まで歩いて帰りました。これはすごく大変でした。特に古志大橋を歩いて渡るのは本当にきつくて、これを渡って受診に行くのは歩いたり自転車で無理だと思いました。やはり歩いて行ける距離に診療所がないと大変なんだと身をもってわかり、開業を決意し、お話をいただいた方にご返事しました。そのご返事をしたときにその方がとても喜んでくださり、私も嬉しくなりました。（次号へつづく）

令和5年度各団体役員 敬称略

コミセン事業委員会		自治協会		コミセン運営委員会	
総務部長	林 保範	相談役	増田健吉	会長	大野敏夫
広報部長	高橋悦子	会長	大野敏夫	副会長	三谷 進
文化部長	加藤澄子	副会長	加藤澄子	〃	山根 勉
青少年部長	野々村学	〃	太田 均	土木委員会	
町づくり部長	板垣輝正	〃	山根 敦	顧問	大野敏夫
男女共同参画部長	横木美帆	理事 体協	勝部和義	〃	増田健吉
生活部長	川上礼子	〃 一般	石田裕子	委員長	黒目益宏
社会福祉協議会		〃 青少協	板垣孝治	副委員長	吉井貴史
顧問	大野敏夫	〃 人同協	伊藤捷芳	文化観光協会	
会長	三谷 進	〃 一般	岡田久仁子	顧問	大野敏夫
副会長	高橋悦子	〃 土木	黒目益宏	〃	増田健吉
〃	山根里司	〃 交通安全	土江孝夫	会長	山根 勉
採石対策協議会		〃 一般	西尾京子	副会長	広瀬英典
相談役	黒目益宏	〃 社福	三谷 進	〃	今岡章一郎
〃	増田健吉	〃 文観	山根 勉	民生児童委員協議会	
会長	伊藤貴博	〃 消防古志分団長	伊藤誠司朗	会長	今岡章一郎
副会長	伊藤正二	〃 JA地区運営委員	吉井忠夫	副会長	林 伸
〃	柿木 功	人権同和教育推進協議会		見守りネットワーク	
交通安全委員会		顧問	大野敏夫	会長	板垣孝治
会長	土江孝夫	〃	奥井博之	副会長	黒目益宏
副会長	西尾良一	会長	伊藤捷芳	〃	伊藤 実
交通指導員	常松 聡	副会長	高橋悦子	消防古志分団	
〃	山根康秀	〃	板垣孝治	分団長	伊藤誠司朗
交安協代理員	伊藤 実	体育協会		副分団長	山根孝一郎
〃	高橋勝美	会長	勝部和義	自治運用団体監査委員会	
理事	伊藤達臣	副会長	勝部敦史	委員長	勝部 均
〃	横木克則	事務局長	野々村学	副委員長	高塚 寛
一般理事	奥井博之	副事務局長	石橋幸枝	資金管理委員会	
〃	増田健吉	青少年育成協議会		委員長	藤原英博
高齢者部長	梅 和男	会長	板垣孝治	副委員長	福岡英介
女性部部长	加藤恵子	副会長	仁科好晴	行事予定	

御奇贈御礼 (R5.6.12〜R5.7.10)
お寄せ頂いたお志は、地区の事業に有効に活用させていただきます。誠にありがとうございました。【香典返し】
加藤はるみ様 (上新宮)
4年ぶりの慶人会総会
古志慶人会総務部長 藤江明憲
総会には来賓として大野自治協会会長、三谷社会福祉協議会会長、林慶人会顧問、黒目慶人会顧問に出席して頂きました。増田コミュニティセンター長は都合により欠席となり残念でした。本年度は4名の役員改選があり、4年度の報告と5年度の計画案を審議いただき、決定しました。また、役員改選で退任された4名の方々(横木久美様、勝部健一様、三谷秀夫様、梅和男様)への感謝状を贈呈致しました。休憩をはさみ、一宇里民謡会6名の皆さんの余興を楽しんでいただきました。山陰地方の民謡、安来節、どじょう掬い、しげさ節、銭太鼓、傘踊り等10曲を披露していただきました。その後の懇親会にても、多に盛り上がり楽しく過ごしました。

ひとひら抄
五年ぶりに息子が暮らしている町を訪ねた。少し速足で空港を抜け、高速バスから地下鉄へ。そして、降り出しそうな空を見上げ、キャリアバッグをコロコロとまた足早に十五分歩く。小高い山と新幹線がまっすぐ先に見え、部屋に吹き込む風が気持ちいい。多くのビルや幅広の道路、そして人、久しぶりの景色に刺激を受けた。帰れば、いつもの田舎生活で畑の収穫が待っていた。また、野菜を送ろう。モロヘイヤの柔らかな葉も添えて。(悦)

